

学部 / 看護専門領域 / 看護の基本
科目コード:130025

診療補助技術論Ⅱ Medical care assistant Ⅱ

担当教員	石井和美、瀬戸清華、千田明日香、南條裕子、石川倫子、寺井梨恵子、田村幸恵、橋本知奈、酒井麻衣										
実務経験	担当教員全員が看護師としての病院実務経験があり、その経験を活かして診療補助技術に関する知識・技術を教授する。										
開講年次	2年次前期	単位数	1			授業形態	講義・演習				
必修・選択	必修	時間数	30								
該当ディプロマポリシー	(1)		(2)	◎	(3)	○	(4)		(5)		(6)
Keywords	診療補助技術、安全・安楽、洗浄・消毒・滅菌、非経口栄養法、導尿・浣腸、排痰ケア、酸素療法、電法、創傷										
学習目的・目標	【学修目的】 対象者が診察、検査、治療を安全・安楽に受けられるための基礎知識と確かな援助方法を身に付けることを目的とする。 【学修目標】 1. 医療器具の管理方法について理解し、無菌操作が実施できる 2. 創傷と治癒のメカニズムを理解し、創傷処置が実施できる 3. 呼吸・循環を整えるための方法を理解し、援助が実施できる 4. 非経口栄養法の基礎知識を理解し、援助が実施できる 5. 侵襲を伴う排泄援助の方法を理解し、援助が実施できる 6. 治療、処置を受ける患者への看護についてシミュレーションを通して体験する 7. 治療・処置が対象者に与える身体的・心理的影響について考察できる										
授業計画・内容											
回	内容										
1-3	1. 感染防止の技術 1) 洗浄・消毒・滅菌 2) 無菌操作の実際										
4	2. 創傷管理技術 1) 創傷管理 2) 創傷処置 3) 包帯法										
5-8	3. 呼吸・循環を整える技術 1) 呼吸を楽にする姿勢と呼吸法 2) 排痰ケアの実際(口腔内・鼻腔内吸引) 3) 酸素療法の実際 4) 電法の種類と管理										
9-10	4. 食事援助技術 1) 非経口的栄養摂取の援助 2) 経管栄養法(経鼻胃管)の実際 3) 中心静脈栄養法の管理										
11-13	5. 排泄援助技術 1) 侵襲を伴う排泄援助の種類と方法 2) 導尿の実際 3) 浣腸の実際										
14-15	6. シミュレーション演習 酸素療法および点滴静脈内注射中の患者への看護										
教科書	茂野香おる編:系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学② 基礎看護学技術Ⅰ, 医学書院 任和子編:系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学③ 基礎看護学技術Ⅱ, 任和子, 秋山智弥編:根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術(第4版)、医学書院										
参考図書等	看護がみえる Vol.1 基礎看護技術、メディックメディア 看護がみえる Vol.2 臨床看護技術、メディックメディア										
評価方法・基準	課題内容と授業への取り組み姿勢10%、筆記試験90%で評価する										
関連科目	解剖生理学、解剖生理学演習、代謝と栄養、人間病態学、人間病態学演習、疾病・障害論、薬理学、フィジカルアセスメント、生活援助論Ⅱ、診療補助技術論Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ										
教員から学生へのメッセージ	解剖生理学、代謝・栄養、薬理学、フィジカルアセスメントなど、すでに学んだ知識の活用が必要となる科目です。そのため、既習知識の復習などの事前学習をしっかりと行って受講してください。対象者にとって不安・苦痛、羞恥心、合併症など身体侵襲を伴う看護技術です。技術の原理・原則だけでなく、対象者への心理的・身体的影響を理解した倫理的配慮(より良い看護)ができる力を身に付けていきましょう。										

